

〈自由討論 トピックス〉

- 地元の多様な主体との関わり方について
- 自然を活かす、自然に学ぶ地域づくりとは

コメンテーター 横山 葵 (NPO法人「人と自然とまちづくりと」理事長)

- ◆様々な地元住民とどう協力体制を取っているのかについて。地域の色々な人が活動に関わり活発化してくると、反発意見が出たり、様々な主張が対立したりするのではないかと推測されるが、基本的には一生懸命な活動に対しては、反発よりもむしろ協力などのいい連鎖が起こってくる。
- ◆地域活動をネットワーク化するにあたって、地元の小学校やPTAのお母さんたちに声がけをすること。また、行政に動いてもらうには、実績が必要。口頭で説明するだけでなく、パワーポイントなど資料を用意し、わかりやすく解説することで、協力が期待できる。
- ◆一生懸命に活動をしていると仲間が増え、それを周りもちゃんと認めてくれて新たな活動も生まれてくる。そうなると行政も後ろ盾になってくれる。
- ◆自然と関わる地域協働を続けていると必ずぶつかるのは、1つ課題を克服するとまた別の問題が次々と起こってくる。それに対して、その都度きちんと対応することで新たな局面が生まれる。そうやって自然に合わせて自分たちが対応していくことによって、環境もよくなり、自分たちも素晴らしいものを手に入れることができる。
- ◆「自然を活かす」には、がむしゃらに頑張るのではなくて、いかに自然体でいられるかが大切。それを活動の中心に置くと、人生もハッピーになるのではないだろうか。

